

GDP2022「気候変動」で「A-」、「水セキュリティ」で「B」の評価を獲得

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は、2022年12月13日に発表されたCDP2022のスコアにおいて、「気候変動」で「A-（A マイナス）」、「水セキュリティ」で「B」評価を獲得しました。

CDP（本部：ロンドン）は、2000年に世界の機関投資家が連携して設立した環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体です。世界の主要企業に対して「気候変動」「水セキュリティ（水資源保護）」「フォレスト（森林保全）」に関する質問票を送付し、各企業の環境情報開示の透明性や経営の関与等を評価した結果をスコア付けして公表しています。CDPは、全世界で13,000社以上の企業に対して、本プラットフォームを通じて環境情報の開示を推進しています。

要求される開示内容は、より詳細に具体性が求められ、年々その度合いが厳しくなっています。より広範囲な環境側面に対するKPIの設定や、企業ガバナンスの高度化が求められる中、「気候変動」は「A-」を保持、「水セキュリティ」では「B」の評価が得られました。

今後当社は、「気候変動」に対しては、より踏み込んだKPIの設定や具体的なリスクと機会の深耕、「水セキュリティ」においては、水の管理を高度化し、企業活動が水資源に与える影響をより精緻に把握、影響の極小化に資するなどの改善を図りながら、引き続き、適切な環境情報の開示に取り組みます。

今後もSDGsを羅針盤に、誰よりも上手にできる仕事で全ての方がより良く生きる世界をつくる、社会にとってかけがえのない企業を目指してまいります。

以上

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部

電話：03-5290-5511